

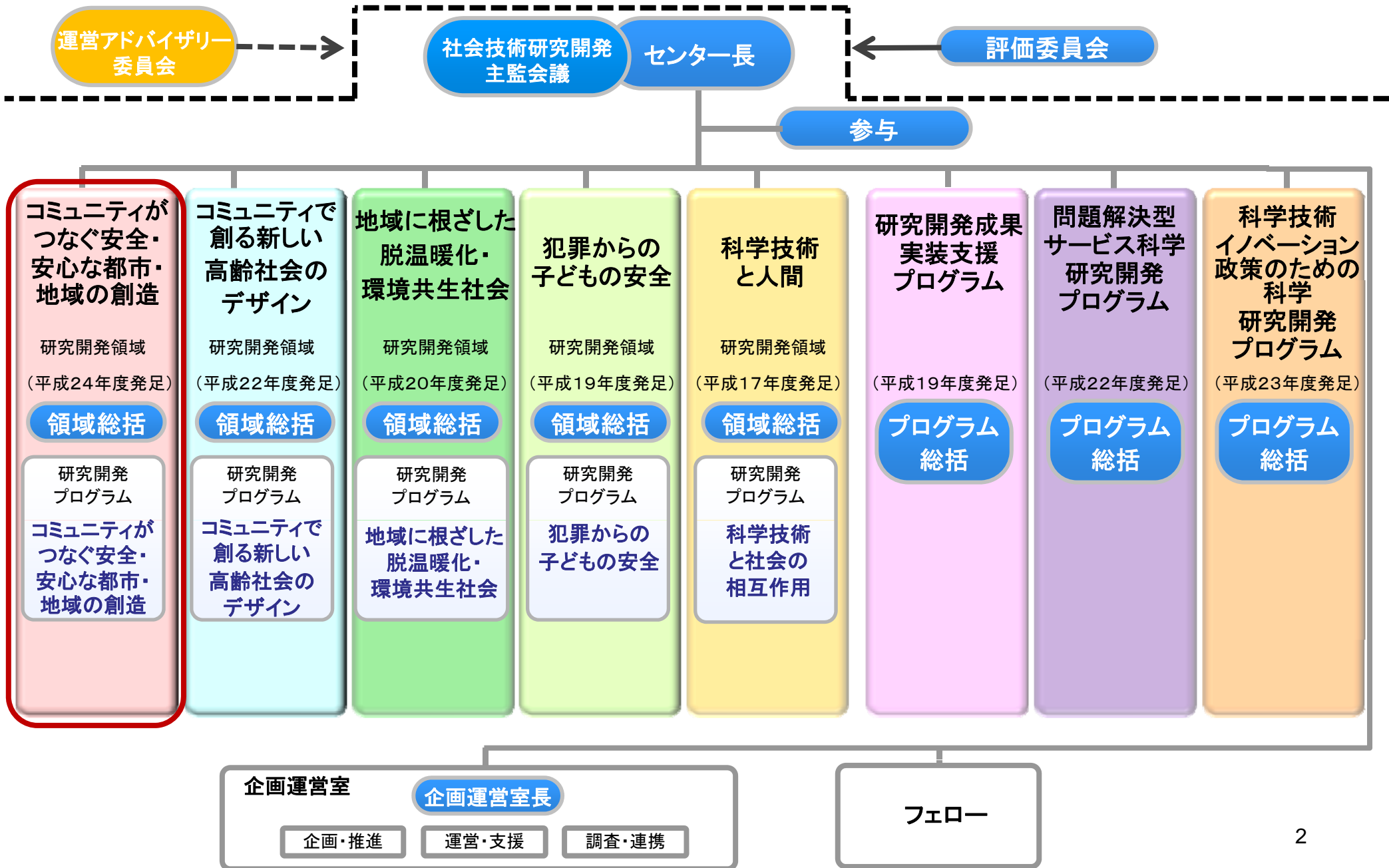
議題2「安全・安心科学技術に関する施策の現状について」

「コミュニティがつなぐ
安全・安心な都市・地域の創造」
研究開発領域の創設

2012年7月12日

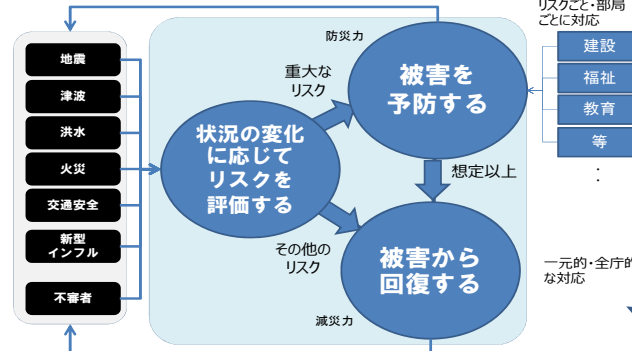
科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
安全・安心科学技術委員会(第32回)

社会技術研究開発センター組織図（平成24年度）





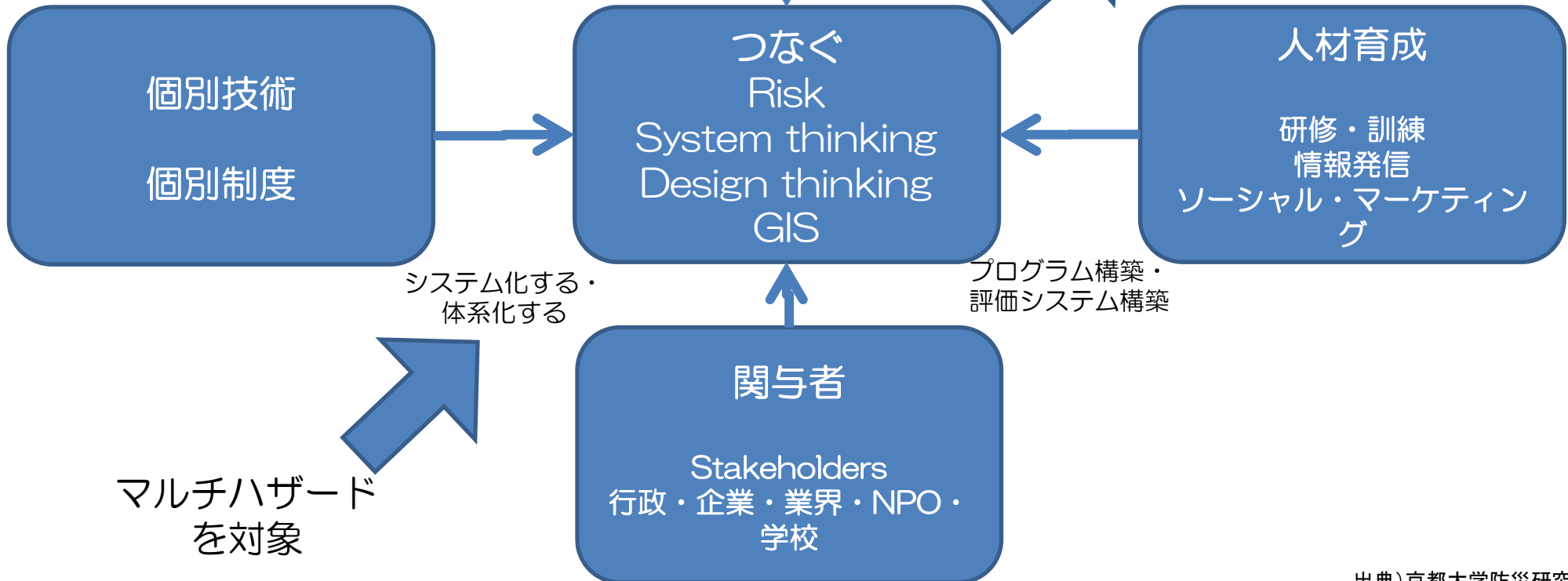
これまでの防災分野の知識・技術を
プロアクティブに適用する（時間的展開に即して考える）



結果としての安全・安心

どのような場合にも
自分たちがやるべきことを
継続できる社会の構築

災害時には平常時にやっていること
としかできない
（災害時に適用できるように
平時の技術制度を考える）



「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」研究開発領域の目標

- ① 防災・減災に関わる既存の研究開発、現場における取組や施策、制度等の現状を科学的に整理・分析し、同時に起こりうる様々な危機・災害を一元的に体系化し、効果的な対応を図るために必要な新しい知見の創出及び方法論の開発を行う。
- ② 危機・災害対応に係る都市・地域の現状と問題を把握・分析し、安全・安心に関わる知識・技術、社会制度、各般の関与者（行政、住民、学校、産業、NPO/NGO等）を効果的に連携させることにより、安全な都市・地域を構築するとともに、人々に安心を提供するため、現場に立脚した政策提言、対策の実証を行う。
- ③ 研究開発活動及び得られた研究開発の成果が、当該地域・研究領域の枠を超えて活用され、普及・定着するよう、情報共有・意見交換や連携・協働のための関与者間のネットワークを構築する。

研究開発プロジェクトの要素イメージ

コミュニティの特性を踏まえた 危機対応力向上に関する研究開発

- コミュニティの特性を生かした新たな防災拠点作り
- バーチャルなコミュニティと連携した危機対応能力の向上
- 全国ネットワークを活用した災害時における専門的支援の最適配置

自助・共助・公助の再設計と 効果的な連携のための研究開発

- リスクリテラシー向上のための方法論構築
- リスクへの対応・対策のための合意形成手法の検討・実践（リスクコミュニケーション手法の改善等）
- 効果的な共助・公助のしくみづくり
- 広域連携のための新たなしくみの検討と体制づくり

安全・安心に関わる課題への対応 のために個別技術・知識をつなぐ しくみを構築する研究開発

- 地域における防災・救助・支援活動の体系化
- G空間情報処理(GPS+GIS)を核とした地域情報の集約
- 災害経験の分析・記録・伝承のしくみづくり

コミュニティをつなぐしくみの社会 実装を促進するための研究開発 (法規制や制度等の整理分析、 新たな取組への仕掛けづくり)

- 身近な日常的技術の緊急時への転用検討

研究開発プロジェクトの規模・実施期間

研究開発プロジェクトの実施パターン(イメージ)

		初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
初年度	研究開発プロジェクト*	→————→					-----●
	プロジェクト企画調査	→————→					
2年度	研究開発プロジェクト*		応募	→————→			-----●
	プロジェクト企画調査		→————→				
3年度	研究開発プロジェクト			応募	→————→		

*「プロジェクト企画調査」: 次年度以降の研究開発プロジェクト応募に向け、構想を具体化し、有効な提案とするための調査検討を行うもの

- 領域の設置期間: 発足年度から6年間の見込み
- 各研究開発プロジェクトの実施期間: 原則約3年の予定 (延長の可能性あり)
- 初年度、2年度、3年度に公募し、各年度数課題を採択の予定
(※今後の検討状況により変動する可能性あり)

研究開発費・企画調査費（間接経費含む）

○研究開発プロジェクト

- カテゴリーⅠ：社会の問題を解決するための選択肢を提示しようとするもの（研究開発手法や科学的評価のための指標の体系化など）
 - 10百万円未満／年
- カテゴリーⅡ：社会の問題の解決に資する具体的な技術や手法などについて、その実証まで行おうとするもの
 - 20－30百万円／年 程度を上限

- プロジェクト企画調査：次年度以降の研究開発プロジェクト応募に向け、構想を具体化し、有効な提案とするための調査検討を行うもの
 - 数百万円以下

※ 実施内容に応じて調整予定

研究開発領域の運営体制



京都大学防災研究所
巨大災害研究センター

林 春男 教授

研究開発プロジェクトを公募 選考

領域総括

運営の責任者

アドバイザー

総括に対し専門的助言

研究開発
プロジェクト

研究開発
プロジェクト

研究開発
プロジェクト

研究開発
プロジェクト



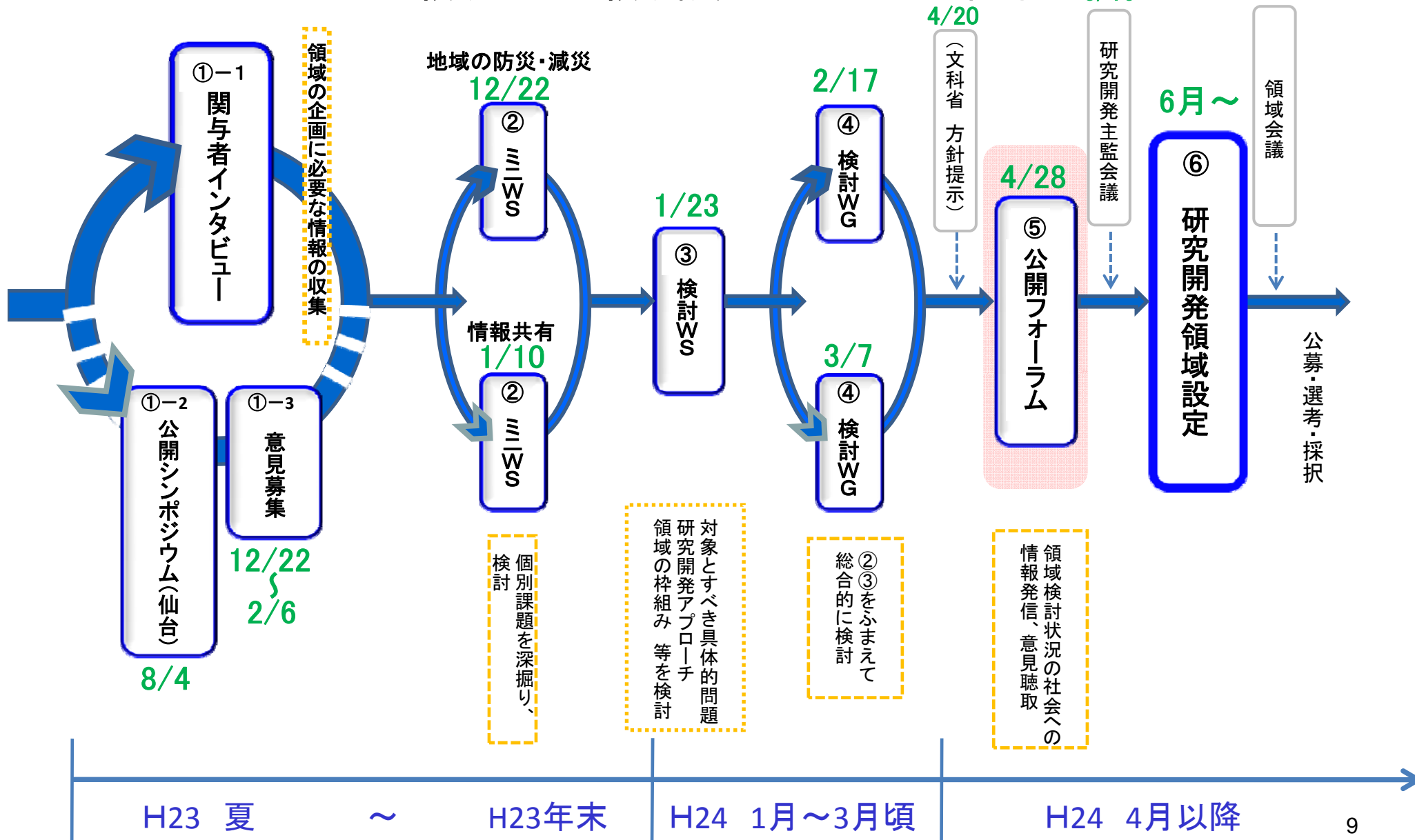
研究チーム:

大学等の研究者、行政、各種団体、学校、産業界、NPO等、
問題解決に取り組む人々と研究者の両方を含む関与者の協働

- 研究開発プロジェクト(課題)の募集・選考、領域会議、サイトビジット(現地視察)、領域全体会議(研究開発実施者を含む合宿)等 の実施
- 必要に応じ、研究開発プロジェクトの計画変更、統廃合も実施
- アウトリーチ活動、 外部関与者との人的ネットワークの構築

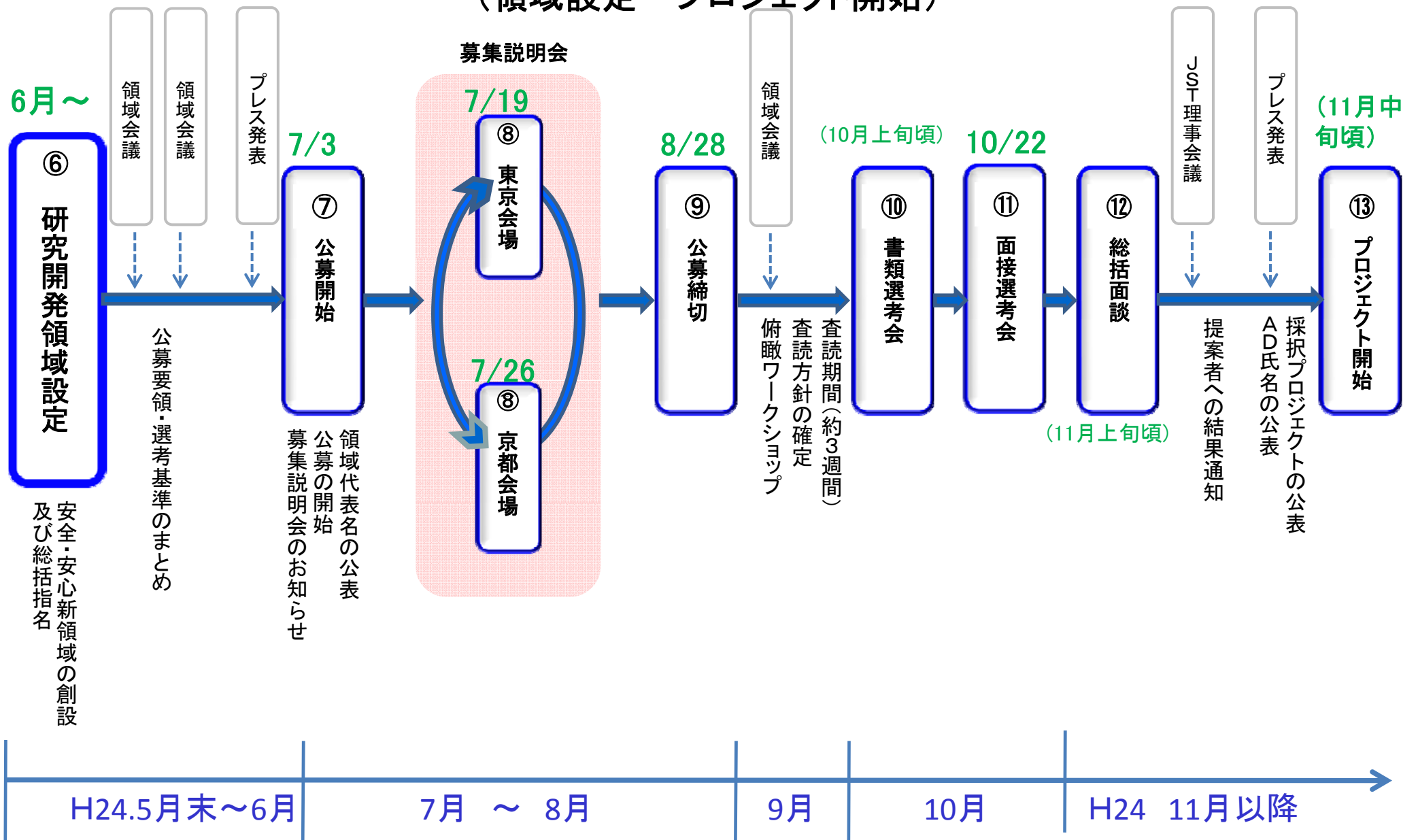
平成24年度新規研究開発領域 創設フロー

(領域企画～領域設定～プロジェクト開始)



平成24年度新規研究開発領域 創設フロー

(領域設定～プロジェクト開始)



ご清聴ありがとうございました

RISTEX 

<http://www.ristex.jp/index.html>